

2026年4月9日
商工中金キャピタル

**商工中金グループ初の事業承継ファンド設立について
～株式取得を通じ、中小・中堅企業の事業承継と成長を支援～**

商工中金キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中西 秀一）は、当社を無限責任組合員（GP）、100%親会社である株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）を有限責任組合員（LP）とする、商工中金グループ初の事業承継ファンド「スターチス1号ファンド（正式名称：スターチス1号投資事業有限責任組合、以下「当ファンド」）」を、2026年4月9日に設立しました。

少子高齢化や後継者不在を背景に、地域経済を支える中小・中堅企業では、事業承継が重要な経営課題となっています。円滑な承継のみならず、承継後の成長戦略をいかに描き、実行できるかが、企業の持続的発展を左右しています。

当ファンドは、こうした社会課題に対応するため、株式取得を通じた事業承継支援を主目的として設立しました。中小・中堅企業を中心にマジョリティ投資を行い、経営に深く関与するハンズオン支援を通じて、経営基盤の強化や成長戦略の実行を支援します。企業価値の向上を図ったうえで、将来的なベストオーナーへの承継につなげることを目指します。

当社では、これまで多様な投資手法を通じて、企業の成長支援や事業承継支援に取り組んできました。近年の事業承継ニーズの高まりを踏まえ、投資・経営支援の知見を、体系的かつ継続的に提供するため、ファンド形式での投資業務を開始します。当ファンドでは、資本提供に加え、経営人材の派遣、ガバナンス体制の構築、事業戦略・財務戦略の高度化など、実効性を重視した支援を行い、中小・中堅企業の中長期的な成長を支援します。なお当ファンド名“STATICE（スターチス）”は花言葉で変わらぬ心、そして永久不変を意味します。私たち商工中金グループの長い歴史と歩みをともしてきた中小・中堅企業の事業承継課題にこの花言葉を胸に、正面から向き合い取り組んでまいります。

商工中金グループは、従来の融資機能にエクイティ投資機能を組み合わせることで、事業承継という構造的課題に対し、より多面的な金融・経営支援を提供していきます。今後も、中小・中堅企業の持続的な成長を支えることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【スターチス1号投資事業有限責任組合の概要】

所在地	東京都中央区八重洲2-10-17
無限責任組合員（GP）	商工中金キャピタル株式会社
有限責任組合員（LP）	株式会社商工組合中央金庫
コミットメント総額	50億円
設立	2026年4月9日

